

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

# 【BS】Rituximab 療法

週毎 コース予定

疾患名 悪性リンパ腫

主治医 指導医 HBs 抗原( + - ) HBc 抗体( + - ) HCV 抗体( + - )

## スケジュール

リツキシマブ BS	375 mg/m <sup>2</sup>	day 1 ↓
-----------	-----------------------	------------

【注意】 \* 体温・脈拍・血圧測定・SpO2 測定は up 直前におこなうこと

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

【初回のみ】 \* 初回投与は必ず入院で実施

① イブプロフェン(100 mg) 錠 デザレックス(5 mg) 錠 内服

☆30 分後より

② 生食 500mL にて血管確保 維持 (20 mL/時間)

③ リツキシマブ BS + 生食 適量 (10 倍希釈)

◎ 輸液ポンプにて 50 mL/時間で点滴静注

\*注:総量 600 mL を超える時はテルモ生食1L を使用

④ 50 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間で点滴静注

⑤ 100 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 150 mL/時間で点滴静注

⑥ 150 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間で点滴静注

⑦ 200 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 250 mL/時間で点滴静注

【BS】Rituximab 療法

- ⑧ 250 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
  - ◎ 輸液ポンプにて 300 mL/時間で点滴静注
- ⑨ 300 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
  - ◎ 輸液ポンプにて 350 mL/時間で点滴静注
- ⑩ 350 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
  - ◎ 輸液ポンプにて 400 mL/時間で点滴静注

【2回目以降】 第1サイクルにおいて発現した有害事象が Grade 2 以下であった場合

- ① イブプロフェン(100mg) \_\_\_\_\_錠 デザレックス(5 mg) \_\_\_\_\_錠 内服  
 ☆30 分後より
- ② 生食 500mL にて血管確保 維持 (20 mL/時間)
- ③ リツキシマブ BS + 生食 適量 (10 倍希釈)
  - ◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間で点滴静注
  - \*注:総量 600 mL を超える時はテルモ生食1L を使用
- ④ 100 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
  - ◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間で点滴静注
- ⑤ 200 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
  - ◎ 輸液ポンプにて 300 mL/時間で点滴静注
- ⑥ 300 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
  - ◎ 輸液ポンプにて 400 mL/時間で点滴静注

	コース	コース	コース	コース	コース	コース	コース	コース
日時	/	/	/	/	/	/	/	/
リツキシマブ BS 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認								